

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	No.1	法人の理念は掲げているが、施設(グループホーム)独自の理念を掲げていないため、日々の支援に活かせていない部分がある。	職員でグループホーム独自の理念を考え、共有する。	・あらかじめユニット毎に理念を考えてもらい、それを全体会議の時に持ち寄り、グループホーム全体での理念を作って共有していく。	3ヶ月
2	No.40	入居者様に提供する食事について、検食を行っていないため、普段入居者様がどのような味付けや硬さで召し上がられているのか把握できていない。	定期的に検食を実施することにより、適切な食事が提供されているのか把握する。	月に数回、朝食、昼食、夕食、おやつを検食できる体制を作り、担当者を決めて職員皆で検食していく。	3ヶ月
3	No.35	災害時、1日分の食事とお米、調味料、水は確保できているが、3日間の食糧は確保できていない。	災害時でも食事や水で困ることのないよう、3日間程度の備蓄を行っていく。	1Fで保管しているペットボトルの水を3階以上の高さのある場所に保管する。 備蓄に関して、具体的に何を必要とするのかを、ピックアップし法人と相談していく。	5ヶ月
4	No.2	地域の方との交流が十分でなく、もっと地域にオープンであって、気軽に認知症のことで相談しにきてもらえるような関係作りを行うべきである。	認知症カフェを開催し1日で5人は来ていただけるようにする。	・同区の別で開催されているカフェに行き、どのような方法で開催しているのか見学してみる。 ・地域包括の職員さんと連携し、集客活動に力を入れる。 (コロナウィルスの感染拡大状況を見ながら)	10ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。